

テーマ

繋がろう興東、育てよう「興東ブランド」

目標

少子化を乗り越えて、興東地域として絆を深めよう

今年度の取組紹介

1. 第3回興東フェスティバル

昨年度に引き続き、学校からの発信として今年も興東中学校に集い、開催しました。幼稚園と中学校との劇や歌などの舞台発表が行われ、迫力ある大道具や堂々とした演技に、会場には温かい拍手が溢れました。

小学校も参加しての地域の方々による体験講座では、どの講座もそれぞれに特色があり、幼小中の子どもたちと地域住民がともに楽しむ場面が数多く見られました。昼食は地域の食材で牛丼が販売されました。



「生花講座」

2. 第2回興東里山まつり

地域の良さを発信する場として、今年度で校舎移転となる興東中学校で開催しました。地域の方々による合唱、作品展示や産物の販売、そして地産地消のシシ汁と蕎麦打ちなど地域ぐるみの取組となりました。また、卒業生によるトークショーや校舎に関する〇×クイズ、そして全員によるダンスで大いに盛り上がり、幼小中の子どもたちに地域の人の温かさや偉大さを十分に感じさせる絶好の機会となり、子どもたちもお互いを意識して、見守りやあこがれの気持ちを一層高めることができました。



「全員によるダンス」

今年度のまとめ

“興東フェスティバル”“興東里山まつり”での取組から、子どもたちは、「地域の人たちをおもてなしできた」「緊張したけどしっかり発表できた」「興東地域を大事にしたい」など地域への想いを感じることができました。地域の方々も、「地域が1つになった気がした」「身近にいろいろ取り組んでいる人がいてびっくりした」「子どもたちと触れ合う機会があって良かった」など、行事を通じて学校と地域の関係を大切にしていこうとする気持ちがさらに強まりました。

来年度に向けて

地域教育協議会での度重なる話し合いから、これらの取組を充実させることができました。このような地道な取組の積み重ねで、お互いを理解し立場を超えて協働する意義を確かめることを、地域全体にいつそう浸透させ、もっと地域ぐるみのものにする、また、新しい人材育成、さらに地域がもっと主体的に行事に取り組めるよう次年度に継承していきます。

テーマ

繋げよう興東 発信しよう「興東ブランド」

目標

体験学習に主体的に取り組み、地域や自分のことを積極的に表現する。

今年度の取組紹介

1. 体験学習

地域のゲストティーチャーによる「陶芸教室」、「生花教室」、「そば打ち教室」「マナー教室」、「篆刻教室」などの様々な分野の体験は、生徒たちにとって多くのことを学ぶ貴重なものとなりました。それは、単なる専門的、伝統的な技の習得ではなく、その人の生き方や心を学ぶことで、自分の生き方を問い将来への夢を膨らませるキャリア教育としても有意義でした。



「陶芸教室」

2. 食育推進事業（キャリア教育）

今年度の食育の一環としてのサツマイモパウンドケーキ作りでは、苗植え、水やり、収穫とすべて全校体制で行いました。ケーキを地域の方々に喜んでもらえるようにイモ植えから意識して作ったため、一人一人が真剣に、また責任を持って、制作に取り組むことができました。“興東里山まつり”での販売は、あっという間に完売したため、生徒たちは驚き、喜び、感動しました。製作だけでなく、販売することで、キャリア教育にもなりました。



「サツマイモケーキの販売」

今年度のまとめ

体験学習に取り組む生徒たちの真剣な姿は、講師として来校されるすべての方から高評価を得、生徒たちには、学習毎に新たな発見があり、自分の生き方を改めて考えるよいきっかけとなりました。“興東フェスティバル”“興東里山まつり”では、少人数の中で育った生徒たちが、多人数の前での舞台発表で堂々と自己表現し、地域の方々と交流することでコミュニケーション能力の伸長を図り、自己肯定感を高める良い機会となりました。また、今年度で興東中学校が校舎移転することで、卒業生によるトークショーや校舎に関わる〇×クイズなどを、生徒たちは企画から運営まで役割分担を考え、主体的に取り組み実行することができ誇りと自信につながりました。

来年度に向けて

今までの取組をしっかりと見直し、体験学習・食育推進事業などがさらに充実するよう進めていきます。地域との連携もさらに密にしながら、“興東フェスティバル”“興東里山まつり”などのイベントにおいても、自主的に取り組み、自信をもって自己表現できる生徒の育成を目指します。

事業名 **つながろう興東 育てよう 興東ブランド**

目標 **地域の様々な人々とふれあい、地域との連携・協働を目指す**

1. 今年度の取組紹介

地域の多様な人との出会いを大切にするとともに、地域の教育力を最大限に受け本校教育を推進しています。なかでも“もち米作り”を昔ながらの農法で行い、米に関わる様々な体験学習を実施しました。田起こしに始まり、田植え、草取り、稲刈り、脱穀等収穫に至るまで、また、米作りから得られる副産物（藁等）を使って様々な活動を行いました。年間を通して地域の方々に支援していただく中で“しめ縄づくり”

“門松作り”“大とんど”の活動も盛大に実施できました。農業は自然相手の活動でその年その年の気象状況に大きく左右され収穫に影響を及ぼします。そんな中で農業、科学技術、努力そして協力の大切さを知り感じることができました。米作りの副産物である藁を使っての“しめ縄づくり”では、地域民生児童委員の方々をはじめ、児童の祖父母、保護者の有志が一堂に会し立派なしめ飾りを完成させることができました。

そして、このしめ飾りを家に供え“大とんど”で青竹の火と共に収穫の感謝と今年の豊作を願って燃やす活動を催しました。

また、地域で行われている農業・養蜂業の体験も行いました。“養蜂農家での蜂蜜搾りと蜜蝋を利用したろうそくづくり”、という貴重な体験学習を行うことができました。この学習も地域の方の協力があった賜です。



2. 今年度のまとめ

地域に伝わる伝統文化・行事にも触れることができ、地域に誇りを持ち、さらに視野を広げる教育活動につながることができました。餅米作りの一連の活動を通して、地域の人々との関わりがより広まりました。統合3年目を迎え、「我が地域の学校」という住民の意識が日に日に増してきたのか、校区民全体が活動に協力すると共に理解が得られるようになってきました。

3. 来年度に向けて

校区から得られる人の温かさ、地域の産業、伝統文化の再確認と伝承していくことの大切さを「生活科」「郷土なら科」等を通して更に学び、郷土のことを誇れる児童に育てていきます。今年まで行ってきた活動を地域と連携・協働し、人と人とのふれあいから生まれる豊かな心を大切に、地域との絆を強固たるものにしていきたいと考えています。

テーマ

“元気なからだ” “輝く笑顔” 大柳生っ子

目標

豊かな心をもち、主体的に活動する幼児を育む

今年度の取組紹介

5月、カゴメ（株）から食育支援活動として「りりこ」という品種の加工用トマトの苗をいただき、幼稚園で栽培しました。園児たちは、たくさん実ができ、赤くなってくる様子を見て、「ケチャップにしよう」「ジュースにしたい」等いろいろ考えました。そこで、都祁にある奈良市農産物加工センターの方のご理解とご協力を得てジュースにしました。トマトジュースの名前も自分たちで考えて、「栄養満点！トマトジュース 大柳生幼稚園産」が出来上がりました。



トマトを使って、親子料理教室をしました。イタリアンシェフから、おいしい料理を教えて頂きました。地域の方や小学生を招き、楽しい一日でした。

11月、興東里山まつりで、トマトジュースを売りました。店屋をつくり売ったり募金を集めたり、それぞれの役割に生き生きと取り組んでいました。

12月、幼稚園の周りの山で集めたドングリと募金を持って、奈良公園へ鹿寄せを見に行きました。ホルンの音で走って集まってくる100頭の鹿に圧倒されながらも、お店で買った鹿せんべいとドングリをあげていました。奈良公園の鹿を大切に思う気持ちや、自分の住んでいる奈良を誇りに思う気持ちが育ったように思います。



今年度のまとめ

- ・少人数であるため、保護者や地域の人と一緒にする活動も多く、「奈良に住んでいながら鹿寄せは初めて見ました」と、共に感動体験をできると共に、子どもたちの成長を間近で見てもらえることができました。
- ・地域の大勢の方から、「よう頑張っているな」「すごいことができるようになったね」と、認めて励ましていただくことで、子どもたちの大きな自信と意欲が高まりました。

来年度に向けて

- ・地域の中の幼稚園として、みなさんから愛される幼稚園として、幼児教育を発信していきます。
- ・地域の教育力を生かし、元気なたくましい体づくりを実践工夫していきます。